県建設業協会鹿児島支部年末パト

中止期間の安全徹底を

現場代理人に安全管理を指導したパト＝鹿児島市の現場で

県建設業協会鹿児島支部（川畑俊彦支部長）と建災防鹿児島分会（木原一郎分会長）は9日、年末年始の休暇期間中における公共工事現場の災害防止を呼び掛ける「年末パトロール診断」を実施した。支部及び分会から24人が参加。12班（2人1組）に分かれ、鹿児島市内の124カ所を巡回した。

出発式では、川畑俊彦支部長が「定期的なパトなどで年々安全管理が徹底されている。17年は10－12月にかけて労働災害は前年に比べ減少している。今回は、年末年始における工事中止期間の現場の安全管理を徹底指導してもらいたい」と挨拶した。

この日のパトロールは郡元、伊敷、上町、中央、桜島の5地区で実施された。このうち、伊敷地区を担当した㈱吉丸組の吉丸義博社長と米盛建設㈱の米盛庄一郎社長は、伊敷町を中心に原良町などの建設現場を視察。現場監督や代理人らに「安全管理の徹底をお願いします」と声を掛けながら、11項目にわたる注意事項（パンフレット）を手渡していた。

国道維持管理・ワークショップ協議会

防護柵の在り方等報告

国道維持管理・コミュニケーション型ワークショップ協議会の第3回勉強会が鹿児島市の

鹿児島国道事務所で開かれ、景観に配慮した防護柵の整備についてや各現場の社内パトロール及び社内検査の実施状況の報告などが行われた。

会では初めに、同事務所の田中秀之進工事施工管理官が、景観に配慮した防護柵の整備について解説。防護柵の色彩選定方法や管内における各指定ゾーン、構造・景観・視線誘導の配慮等の留意事項、設置にあたっての注意点などの説明が行われた。

引き続き、各協議会メンバーが「景観に配慮した防護柵の整備状況」「社内パトロール及び社内検査の実施状況」「ISO書類管理体制」などについて、それぞれの実施状況を報告。このうち、社内パトロールについて、田中工事施工管理官が「ヒューマンエラーを防ぐためには作業前のKY活動だけではなく、作業終了後にも作業中危険が無かったかの確認・ミーティングを行う必要がある」などと説明した。

協議会メンバーから実施状況の報告もあった勉強会＝鹿児島市の鹿児島国道事務所で

本名小5年生が現場見学

迫力ある現場に驚き

鹿児島土木

真剣な表情で説明を聞く児童＝鹿児島市の現場で

県鹿児島土木事務所は9日、鹿児島市の主要地方道伊集院蒲生溝辺線都迫2工区の現場で、同市本名小学校5年生の児童50人を対象に現場見学会を実施し、迫力ある現場や重機操作の体験に、児童らは大喜びだった。

当日は、同学校で満留道路課長が「今日は道路のありがたさや重要性を勉強してください」と挨拶。続いて、見学会のスケジュールを行った後、児童と引率の先生2人がバスに乗り込み、現場へ出発した。

同現場は、鹿児島市本名町内之原の仮称・風穴橋下部工現場。現地では、県の担当者が工事の重要性や内容等を図解で示し説明。続いて、児童らは2班に分かれ、現場内でバックホーやクレーンなどの重機の操作、実際使われている鉄筋の重さ当てクイズなど楽しみ、迫力ある現場の雰囲気や公共事業に対する親しみを深めた。

クレーン操作を体験した児童は「アームが動く瞬間は感動しました」と感想を述べていた。担当の先生も「私も含めて大変良い経験ができました。児童らもこの経験を忘れずに今後の勉強に生かしてくれると思います」とお礼の言葉を述べた。

電子納品セミナー

公共事業の品質向上に

鹿児島ゼロックス

18年度から本格化する県の電子納品への対応などをサポートする鹿児島ゼロックス㈱主催の「電子納品セミナー」が9日、鹿児島市の同社で開かれ、講師を務めた㈱現場サポート社長の福留進一氏が日常データの整理方法や対応のポイントなどを分かりやすくアドバイスした。

関係者を中心にこれから電子納品作業を行う現場代理人やその補佐役、情報収集をする公務・システム担当者のほか経営幹部を対象に実施しているもので、毎回好評を博している。

分かりやすくアドバイスする福留氏＝鹿児島市の鹿児島ゼロックス本社で

セミナーでは、電子納品の意義説明の後、全体の流れや電子納品特有の対応のポイントなどを要領・基準に照らして講義が行われた。その中で電子納品の効果として「事業全体の情報を電子的に共有化・伝達が実現することによって、情報の伝達ミスや転記ミスなどを低減し、公共事業の品質向上につながる」さらに「日常的に管理しやすいようにデータフォルダやファイル名を確実に」などとアドバイスした。

鹿児島造園技術専門校修了式

18人に晴れの証書

修了生を前に式辞を述べる坂上校長＝鹿児島市の鹿児島造園技術専門校実習場で

鹿児島造園技術専門校（坂上久美子校長）は9日、鹿児島市の同校実習場で委託訓練第61期生の修了式を開き、18人全員が6カ月間の訓練期間を終え、晴れの修了証書を手にした。

式では初めに、坂上校長と宮下修県立姶良高等技術専門校長が「同校で学んだ技術・技能を今後の社会生活に最大限に生かしてほしい」、「さらに研さんを重ね、熟練技能者としての活躍を」などと式辞を述べた。次いで、修了生代表の東眞一郎さんに修了証書を授与したほか、修了生3人に感謝状が贈られた。

引き続き、来賓の清山正美県商工労働部労働政策課技術補佐、冨迫輝男県職業能力開発協会専務、郷原和寿県造園技能協会長がそれぞれの立場から祝辞を寄せた。

最後に、修了生を代表して東さんが「同校で学んだ技術を最大限に生かして、これからの人生に役立てていきたい」と力強く謝辞を述べた。

川内駅でイルミネーション点灯式

川薩電気協組が装飾協力

点灯スイッチを押す関係者＝薩摩川内市の川内駅で

誕生1周年を迎えた薩摩川内市をPRしようと川内駅前から国道3号までの昭和通りの樹木や東屋等を約5万球のイルミネーションで装飾。5日川内駅2階で関係者が点灯式をした。

イルミネーション装飾工事は同市観光協会の委託を受けた川薩電気工事工業協同組合（福重安治理事長）が担当。回転灯の点灯合図と同時に関雄太同協組青年部長が無線で指示すると、次々に点灯。見物人から大きな歓声と拍手が起こった。

福重理事長は「新幹線も開通し駅前周辺も整備される中、私どもこのようなイベントに携わることができました。これを契機に私どもの大きな第一歩にしたい」と話した。

点灯は18年1月31日まで（時間は午後6時～午後11まで）。24日から31日は午後6時から翌日午前1時まで点灯する。肥薩おれんじ鉄道と新幹線を使ってぜひ、薩摩川内市へどうぞ。

無振動・無騒音
● 鋼矢板圧入引抜工事
● コンクリート矢板・広幅鋼矢板圧入工事
油圧式超高周波鋼矢板打抜工事（在庫多数）
土木工事一式
各種土留工事
クレーン作業全般
NAMORI
稲森クレーン建設㈱
〒891-0104　鹿児島市山田町416－4
TEL(099)265-6651　FAX(099)265-6780

お手軽で便利な購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ